



学校だより

6月号



令和3年6月1日
横浜市立能見台南小学校

← 学校ホームページ
QRコード

GIGA スクールが始まります

校長 榊原 一紀

昨年6月1日は、緊急事態宣言が解除され、分散登校でしたが子どもたちが学校に登校しました。今まで当たり前と感じていた、学校に子どもがいるという日常が戻ってきたことにうれしい気持ちになったことを思い出します。それから1年、依然として厳しい状況が続いています。まん延防止重点措置の再延長が決定し、残念ながら南小オリンピックを無観客で行いました。安全を考えたいでの判断です。ご理解いただきますようお願いいたします。子どもたちは、ここまで練習を頑張ってきました。昨日お知らせしたように6年生のソーラン節は、まん延防止重点措置解除後の25日（金）に披露する予定です。また、そのほかの競技の様子は、個人面談の際に動画を放映させていただくよう準備を進めます。ぜひご覧ください。

GIGAスクールという言葉が様々な場面で聞くことが多くなってきました。児童向け1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、学習活動の充実を図ることを目的としています。能見台南小学校では、タブレット端末の設定が5月に終わり、6月中にはインターネットやタブレット端末の正しい使い方を指導していきます。保護者の皆様には、これまでたくさんのご協力をいただきました。ロイノートでの出欠カードの提出では、分かりにくいことも多く、ご迷惑をおかけしました。より良い学習を進めるために必要なこととご理解いただければありがたいです。

今までは、自分の考えを画用紙や模造紙に書いて発表するなどして共有していましたが、タブレット端末をつかうことでリアルタイムに共有できます。また、理科では、実験の結果を撮って考察したことを書き込んだり、外国語では、海外とつないで英語での交流をしたりするなど活用方法はたくさん想像できます。今後、研究が進み、さらに授業が変わっていくと考えるとわくわくします。

学校でタブレット端末を使用することによって「使い方が分からないのでは」「家でも購入しないといけないのではないか」「購入するとゲームばかりするようになるのでは」「ネットトラブルがあるかもしれない」など不安を感じるかもしれません。学校では、タブレット端末は文房具の一つと考えています。使い方は学校で教えます。ご家庭に購入を求めているものでもありません。必要感や目的意識がなければゲームに使うかもしれません。もし、ご購入を考えていても、子どもがもっと勉強したいと訴えてきたときに考えることが重要です。ネットトラブルについては学校でも指導しますが、大切なことですのでご家庭でも一緒に考えてみてください（学校ホームページに載せた資料もご活用ください）。

私が子どものころに想像した未来の教室がすぐそこに近づいています。ドラえもんでのび太が「テレビで勉強ができれば、学校に行かなくてもいいのに」と話していた場面を思い出します。学校に来ることの良さはたくさんあるので、行かなくても良いとは思いますが……。